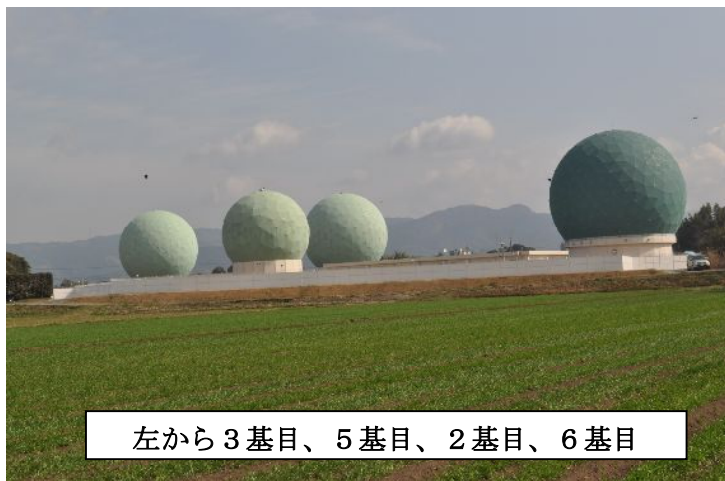


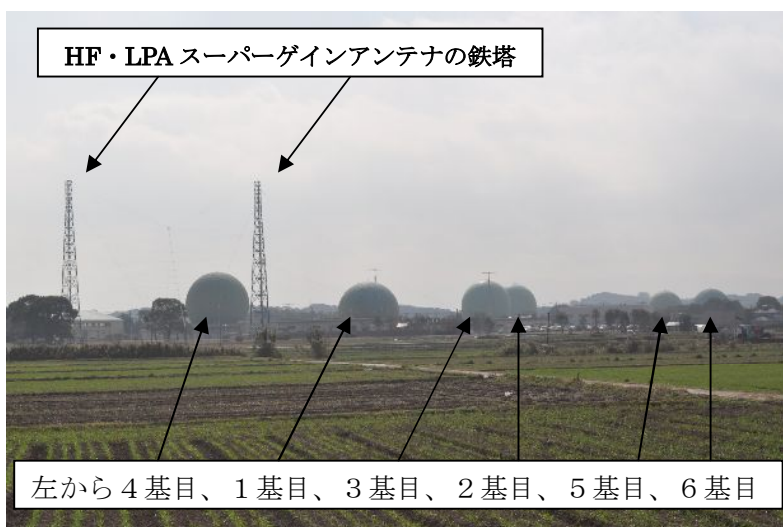
福岡県周辺の基地の動き 第2号

大刀洗通信所に6個目の軍事衛星監視ドーム出現



2008年3月防衛省に売却された筑前町の町民グラウンド跡に6個目のドームが出現。まだ、工事関係者が出入りしており調整中と思われる。

5基目が完成してすぐに6基目出現は、“異常な動き”と見るべき「電波傍受施設の増強」です。



今回の6基目のドームは天頂に避雷針のある1基目と4基目と同じタイプ。

2基目、3基目、5基目はドーム天頂に四角形のものがある。(下写真参照)



- ◇統合幕僚会議議長（現統合幕僚長）の下に設置されていた“情報本部”が、自衛隊の統合運用体制への移行に伴い、2005年度末に防衛庁長官（現防衛大臣）直轄となった。
- ◇情報本部には、6個の部（総務部、計画部、分析部、統合情報部、画像・地理部、電波部）と10ヶ所の通信所（電波傍受施設）から構成され、大刀洗通信所は画像・地理部と電波部の機能があると思われる。
- ◇情報本部の“各部の業務”では、画像・地理部は「民間の衛星から収集した衛星写真の解析、デジタル地図の作成、地理空間情報の分析等に関する業務」、電波部は「我が国唯一の電波情報機関として、電波情報の収集整理及び解析、電波情報の収集・解析調査に係る装備品の技術研究及び技術開発の要求並びに研究改善に関する業務」と説明。
- ★実態は、中国やロシア等の軍事通信の電波を24時間傍受し、解読・分析するスパイ施設。